

はじめに

①と②は、本発表の考察の出発点となった二点である。

①以下の二例は、韓国語の不可能形式「^{su}없다」、「^{not}못」が指し示す意味の違いをあらわしている。

- (1) 아이가 공부를 못 해서 걱 정이다. (子どもが勉強ができなくて心配だ.)
 (2) 아이가 공부를 할 수 없어서 걱 정이다. (子どもが勉強ができなくて心配だ.)

(1)の「^{mot}ㅹ」は、「子どもの成績が悪いので心配だ」の意味をあらわし、また、動作主(子ども)の能力(勉強)が、話し手(母親)の期待にそぐわないという話し手の態度をも含まれている。(2)の「^{su}ㅸ^oㅸ^{p-ta}」は、動作主を取り囲む「周囲の環境や状況などの理由で、勉強する行為ができないので心配だ」の意味を表している。このように、韓国語では、「^{su}ㅸ^oㅸ^{p-ta}」と「^{mot}ㅹ」の違いがその不可能の内容によって使い分けられていることが分かる。日本語の可能動詞では(1)(2)をあらわすための形態的な使い分けはみられない。

②高橋（1997）では、可能動詞のアクチュアルな用法をあらわす例として「書けた人はだしてよろしい」をあげ、「この場合の「書けた」は、＜その場で実際に書くことができた＞ということを示している。韓国語の場合、可能動詞にアクチュアルな用法がないため、「書けた」を訳すとき、可能動詞ではなく「書き終わった」に相当するような表現にかえなければならない」と指摘していることについて。

本発表では、以上の二点に焦点を当て考察を行う。①いままで、ほとんど研究されることのなかった不可能形式「 \sim ㅂ다^{su} ㅅ다^{o-ta}」と「ㅻ^{not}」が意味的にどのように使い分けられているか、②日本語の可能動詞の過去連体用法の一つとして、発話時を中心にまだ実現していないことをあらわす用法は、なぜ韓国語ではいいあらわすことができないのかについて考察を行う。

1. 韓国語の(不)可能形式の手づつきと従来の研究の動向について

韓国語の可能動詞「^{su}~^{iss-ta} 있다」は、「^{su}술 (術)」という語源をもつ形式名詞「^{su}술」に、存在詞「^{su}있다 (ある)」が組み合わさったもので (不可能形式は「^{su}술」に「^o없다 (ない)」がついたもの)、可能の対象は「を」格を要求し動詞の語幹に後続する統語論的な手づきをとるものである。本発表では、不可能形式「^{su}~^o없다」と「^{mot}못」の意味の違いをみるため、日本語の「可能動詞 (-reru/-rareru)」が「^{su}~^{iss-ta} 있다」に訳された用例だけを対象としている。その理由としては、肯定表現の場合、韓国語訳では、かならずしも可能動詞「^{su}~^{iss-ta} 있다」に対応するわけではなく、もとの動詞、形容詞、副詞「^t잘 (よく)」を伴うものなどが見られ、また、「^{su}~^{iss-ta} 있다」の統語的な制限や語用論的な意味の違いによって、もとの動詞に助動詞「^u~^{i-ta} 지다」や語尾「ⁱ~^{hi}/~^{li}/~^{ki}」がついた派生動詞が用いられたりその対応関係は一定したものではなかったからである。

「^{su}全」についての従来の研究では、形式名詞としての用法を述べているだけに止まっており、「動詞

の語幹+^{su} 있다」,「動詞の語幹+^{su} 없다」を「(不) 可能表現」という一つのカテゴリとして扱っている研究はほとんど見当たらないのが現状である。したがって、「^{su}」だけの研究では、可能表現をみるためには不十分であることが言える。

一方、「^{not}」は、최현배 チェ・ヒョンベ (1971)、남기심 ナム・キシム、고영근 コ・ヨンゲン (1993) では、述語の前について、動作主の意志ではなく能力やその他の外部からの原因によってその行為が起こらないことをあらわす副詞であると述べている。「^{not}」に関する従来の研究は、「否定文」のなかでなされ、「안 (しない)」に意味的に対立するものとしての記述が中心になっている。

つまり、「^{su} 없다」と「^{not}」の意味的な使い分けについてほとんど研究されていないことが言える。

2. 「^{su} 없다」と「^{not}」の意味の使い分けについて

2.1.では、可能動詞の現在のかたちを述語にする否定文（ポテンシャルな用法）において、2.2.では過去のかたちを述語にする否定文（アクチュアルな用法）における「^{su} 없다」と「^{not}」の意味の使い分けについて考察する。鈴木 (1972) では、「可能動詞は、現在未来形では、現在における可能性・能力をあらわすのが普通である。」とし、「過去形では過去の特定の時間における可能性・能力の実現をあらわす方が普通である。」とする。

2. 1. 可能動詞の現在のかたちを述語にする文（ポテンシャルな用法）

奥田 (1986) では、「(可能動詞が) 否定の現在のかたちをとるときには、おおくのばあい、期待して、つとめていても、なんらかの事情で、能力がかけていて、あるいは条件がかけていて、その動作・状態が実現しないことをいいあらわしているのである。」と規定している。奥田 (1986) にしたがって、以下の具体的例から日本語の可能動詞の否定表現と韓国語の不可能形式「^{su} 없다」と「^{not}」の基本的な意味の違いをみていく。例(1) (2) (3) (4) (7)は、一方は可能、一方は不可能と二つの事柄を対比させてみている。

(1) 平仮名は読めますが、漢字は読めません。(みんなの日本語)

(1)-1 *히라가나는 읽을 ^{su} 있지만, 한자는 읽을 ^{su} ^{not}어요.

(1)-2 히라가나는 읽을 ^{su} 있지만, 한자는 ^{not} 읽어요.

(2) 野球はできますが、テニスはできません。

(2)-1 *야구는 할 ^{su} 있지만, 테니스는 할 ^{su} ^{not}어요.

(2)-2 야구는 할 ^{su} 있지만, 테니스는 ^{not} 쳐요.

(1) (2)は、動作主体の学習や練習によって得られた能力をあらわしている。つまり、意志の力を持てしように思っても「読める」「できる」という動作の実現の可能性はあるものではない、能力がそなわっていないことをあらわしている。(1)の韓国語訳は、「読めます」に「^{ilkwu} 읽을 ^{su} 있다」と可能動詞が対応するが、「読めません」には「^{ilkwu} 읽을 ^{su} ^{not} 있다」は対応しない。つまり、動作主体に学習や練習に

よって習得した能力がそなわっていないための「能力不可能」をあらわす場合には、「^{not} 못」のみ対応する。

「日本料理は何でも食べられますか。」(みんなの日本語) に対し、

(3) 「てんぷらやすき焼きは食べられますが、すしは食べられません。」

(3)-1 「*텐뿌라나 스키야키는 먹을 수 있지만, 스시는 먹을 수 없어요。」

(3)-2 「텐뿌라나 스키야키는 먹을 수 있지만, 스시는 ^{not} 못 먹어요。」

(3)は、生来的な体質などの理由によって、(不)可能であることをあらわしている。動作主体の恒常的な属性(内部の要因)が理由(アレルギーや好き嫌い、苦手など)として、「経験」から得られた一種の習得による能力の不備といえるものである。「^{not} 못」だけが対応し「수 없다」ではあらわすことができない。

(4)の地の文の場合には「^{not} 못」と「수 없다」両方成立するが、それぞれ指し示す文脈的な意味は異なる。

(4) 鶏肉は食べられるが、豚肉は食べられない。(みんなの日本語)

(4)-1 닭고기는 먹을 수 있지만, 돼지고기는 먹을 수 없어요.

(4)-2 닭고기는 먹을 수 있지만, 돼지고기는 ^{not} 못 먹어요.

(4)-1の「수 없다」は、宗教などによって許されてない「禁止」の意味として解釈できる。(4)-2の「^{not} 못」は、体質や苦手な味などの理由で不可能(食べられない)であることをあらわしている。

(5) 足が痛いから走れません。(みんなの日本語)

(5)-1 다리가 아파서 떨 수 없어요.

(5)-2 다리가 아파서 ^{not} 못 뛰어요.

(6) 約束があって、今日は飲みに行けません。(みんなの日本語)

(6)-1 약속이 있어서, 오늘은 술 마시러 ^{not} 못 가요.

(6)-2 약속이 있어서, 오늘은 술 마시러 갈 수 없어요.

(5)は、動作主体の内的条件が欠けているために、(6)は、動作主体の外的条件がかけているために動作の実現の可能性がないことをあらわしている。「수 없다」と「^{not} 못」両形式によってあらわすことができる。(1)(2)(3)(4)は、動作主体の恒常的な特性をいいあらわし、(5)(6)は、動作主体の一時的な属性をあらわす例である。

次は、(不)可能の形式が「許可」「禁止」の意味をあらわす例である。

「このマンションでペットが飼えますか。」(みんなの日本語) に対し、

(7) 「小さいとりや魚は飼えますが、犬や猫は飼えません」

(7)-1 「작은 새나 물고기는 키울 수 있지만, 개나 고양이는 키울 수 없어요.」

(7)-2 「작은 새나 물고기는 키울 수 있지만, 개나 고양이는 못 키워요.」

(7)の「飼えます」は、動作主や話し手の能力を問題にしているのではなく、ある特定の対象（マンシオン）のルールとしての「許可」をあらわし、「飼えません」は、「禁止」を表している。可能動詞が「禁止」をあらわす場合、韓国語では「수 없다」と「못」は、ほとんど同じ意味として置き換えられるが、母語話者の直感としては「수 없다」が一次的に対応するように思われる。これは、「学習によって習得した能力の不備」という意味が「못」につよくつきまとっているためではないかと考えられる。

(8) この中將は、「自分は敗戦後責任を感じて、一切の公の活動を断ち、(中略) 名をだすことはやめてほしい」という希望なので、名前を書けないが、また、次のようにつづける。(山本五十六)

(8)-1 이름을 쓸 수 없지만, (밝힐 수 없다 明かすことはできない)

(8)-2 ??이름을 못 쓰지만,

(9) 問題になるといけないのでくわしくは書けないが、大学では国文専攻で、卒論は太宰治をやるつもりだ、などとちよつと照れながら喋っていた。(風に吹かれて)

(9)-1 자세히는 쓸 수 있지만,

(9)-2 ??자세히는 못 쓰지만,

(8)、(9)の一種の条件不可能とも考えられるが、希望や依頼に対する遠慮とも見られる場合においては、「수 없다」は対応するが、「못」は、不自然さが感じられる。

(10) 「手紙を出します」と相手は生真面目な顔つきになって言った。

「あ、それならね」と、桃子は、甘ったるな声で言った。「封筒には女みたいな字、書けない? 女の名前のほうがいいわ。たとえば安田敏子とか…」(北杜夫)

(10)-1 봉투에 여자같은 글씨, 쓸 수 있을까?

(10)-2 *봉투에 여자같은 글씨, 못 쓸까?

(10)は、依頼をあらわす場合であるが、「못」の否定文は非文になる。

以上、可能動詞の現在のかたちを述語にする否定文(ポテンシャルな用法)について考察を行った結果、「~수 없다」は、学習や練習(経験)によって習得した能力なし不可能をあらわす用法をもたないことがわかった。「못」は、希望などに対しての遠慮の態度をあらわす場合には不自然な文になり、依頼をあらわす場合には非文になることがわかった。

2. 2. 可能動詞の過去のかたちを述語にする文（アクチュアルな用法）

奥田（1986）では、「可能動詞が否定の過去のかたちをとっているときには、／期待して、意図的につとめる動作・状態が実現しない／という非実現をいいあらわしている。あるいは、／不都合な事情から実行しない／という不実行の意味をいいあらわしている。」とする。本節では、この意味用法を用いて以下の用例を考察する。（以下の用例の一部は、先行研究から借りている。）

(11) 梅子は、懐中電燈をもって、高圧線の下の原っぱの方をたずねあてた。皆が帰ってきたが、手がかりはつかめなかった。（佐藤1986）

(11)-1 우매꼬는 회중전등을 가지고, 고압선 밑의 빈터 쪽을 살피면서 걸었다. 전부들 돌아왔지만 단서는 잡을 수(가) 없었다.

(11)-2 우매꼬는 회중전등을 가지고, 고압선 밑의 빈터 쪽을 살피면서 걸었다. 전부들 돌아왔지만 단서는 잡지 못했다.

(12) お金が足りなかったのでパソコンを買えませんでした。（みんなの日本語）

(12)-1 돈이 모자라서 컴퓨터를 살 수(가) 없어요.

(12)-2 돈이 모자라서 컴퓨터를 못 샀어요

(11)は、意図的につとめたが、能力がかけているために実現しなかったことをあらわし、(12)は、条件がかけているために目的の動作が実行できなかったことをあらわしている。「수 없다」「못」両方対応する。

(13) 私は遠足の朝、おやじから五銭白銅ひとつしかもらえなかった。それはいかにも残念でたまらなかったのて、「三造さんらあ、十五銭ももらいうとった」と、友達をひきあいに試してみたが、（佐藤1986）

(13)-1 *나는 소풍가는 날 아침에 아버지께 동화 오전밖에 받을 수 없었다.

(13)-2 나는 소풍가는 날 아침에 아버지께 동화 오전밖에 못 받았다.

(14) 小さいころは夜中ひとりではトイレに行くことができなかった。（渋谷1993）

(14)-1 ???어렸을 때는 한 밤중에 혼자서는 화장실에 갈 수 없었다.

(14)-2 어렸을 때는 한 밤중에 혼자서는 화장실에 못 갔다.

(13)は、期待したことの結果が、話し手の期待に至らなかった（そぐわない、足りない）という結果に対する話し手の「残念な気持ち」をあらわしている。「못」だけが対応し、「수 없다」は非文になる。しかし、(13)-1の「수 없다」は、文脈によって、「もらうわけにはいかなかった」という話し手の「遠慮」の態度として解釈できる。したがって、(13)-1「수 없다」は、話し手の意志でおこなった結果に対する気持ちをあらわしており、「못」には、話し手の意志とは無関係からでた結果に対する残念な気持ちが含まれている。さらに、(14)のように「怖かったから行けなかった」という心情的なものによる場合においても、「못」が対応し、「수 없다」はかなり不自然な文になる。つまり、非実

現の事柄について、思わしい結果にならなかったことに対する話し手の気持ちをつよくあらわす場合においては「못」が用いられる。

(15) かれはその後仲田のところに三四度いったが、杉子にはあえなかった。(友情) (奥田1986)

(15)-1 그는 그 뒤로 나카다집에 서너번 갔지만, 스기코는 만날 수 없었다.

(15)-2 그는 그 뒤로 나카다집에 서너번 갔지만, 스기코는 못 만났다.

(15)は、動作主体が目的にむかって、意図的につとめたが、実現しなかったことをあらわす場合である。「수 없다」と「못」、両形式に対応する。

以上、日本語の可能動詞のアクチュアルな用法における「수 없다」と「못」の意味の使い分けについてみてきた。能力や条件がかけているために動作や状態の実現が不可能になった場合には、両方成立するが、期待し意図的につとめたが実現しなかったことをあらわす場合には、話し手の気持ちにそぐわない、足りない結果をあらわす場合には「못」が、「どうしても」できなかった結果をあらわす場合には「수 없다」が対応するなど、さまざまな条件によって両形式が使い分けられているのがわかった。アクチュアルな用法をあらわす場合における両者の使い分けには、一般的に、「못」は、一定の目的にむかって努めたが、また、期待したことが、発話時において、至らなかったことに対する話し手の気持ちをいいあらわす場合に用いられ、「수 없다」は、すでにある特定の時間の上で結局実現できなかったことを結果的にのべる場合に用いられるという傾向がみられた。以下の韓国語の用例は、「수 없다」と「못」を置き換えられない場合として、両形式の特徴がよくあらわれている。

(16) 김씨는 반년을 못 채우고 갑자기 돌아온 거였다. (목숨앗이)

(金さんが半年も経たないうちに突然、帰ってきたのだった。)(命奪うもの)

(17) 여봐유, 거간 어때유. 사람 못 살데지유. (목숨앗이)

(ねえ、そちはどうなの。とても住めたところじゃないでしょう。)(命奪うもの)

(18) 그런 의미로 그는 사람대접을 못 받고 있었다. (흑과부)

(そういう意味で彼女は人間らしいあつかいをされていなかった。)(黒やもめ)

(19) 그래도 나는 흑과부가 우는 걸 상상할 수(가) 없었다. (흑과부)

(それでも私は、黒やもめが泣く様を想像することができなかった。)(黒やもめ)

(20) 그러나 순옥은 그 말에 매달리지 않을 수 없었다. (송년잔치)

(しかし、スノクはその言葉にすがりつかざるを得なかった。)(忘年会)

3. 可能動詞の過去連体用法について

韓国語ではなぜ例(21)のような、可能動詞の過去形の連体用法をあらわすことができないのかについて、例(22)と対比して考察を行う。

(21) 「(試験の監督者が) 書けた人はだしてもよろしい。」

(21)-1 *쓸 수 있는(있었던) 사람은 내도 된다.

(21)-2 「다 쓴 사람」(書き終わった人)은 내도 된다.

(22) 外務省の「九七式欧文印字機」による暗号電報が読めたアメリカが、海軍の暗号は解読できなかったのか、日本の真珠湾攻撃を、アメリカは事前に、ほんとうにしらなかったのかということであろう。(山本五十六)

(외무성의「九七式欧文印字機」에 의해 쓰여진 암호전보를 읽을 수 있었던 미국이, 해군의 암호는 해독 못했던 말인가, 일본의 진주만공격을, 미국이 사전에, 정말 몰랐다는 것일까.)

上記の二例は、同じく可能動詞の過去形の連体用法をあらわすものである。(21)の「書けた人」の場合は、「다 쓴 사람(書き終わった人)」としか訳せない反面、(22)の「読めた」は「읽을 수 있었던(読めた)」と可能動詞に訳すことができる。このように、日本語において可能動詞の過去形の連体用法をあらわす場合、韓国語では可能動詞に対応しないものと、可能動詞に対応するものがある。これについて以下の二つの観点から分析できよう。まず、可能動詞の過去形に指し示されている事柄が発話時においてすでに実現しているか、あるいは実現していないかである。つまり、(21)の「書けた」は、試験が始まる前に言い渡されることからわかるように、発話時においてはその動作や行為がまだ実現していないことをあらわし、一方、(22)の「読めた」の場合は、過去の特定の時間にすでに実現したことをあらわす。

次は、発話時において実現していないことをあらわす「書けた」の否定表現は、「書けていない」であり、過去の特定の時間にすでに実現している「読めた」の否定表現は、「読めなかった」で可能動詞の過去形の打ち消しになる。このように、否定表現においては両者の違いが形態として現れる。

以上の考察から、日本語の可能動詞がアクチュアルな用法をあらわす場合、過去の特定な時間が示されているものとこれから実現することをいいあらわすものがあって、韓国語では、前者(22)の場合は可能動詞に対応するが、後者(21)は対応しないことがわかった。

また、この(21)の「書けた」の語用論的な意味を調べるため、日本語母語話者(大学生)16名にその意味を書いてもらった結果、「書き終わった」と答えたのが14名で、また、「書けた」のところを空白にし、穴埋めをしてもらった結果、「書けた」と答えたのが4名で、「書き終わった」が2名、「書いた」と答えたのが一番多く10名であった。この調査の結果は、肯定表現における可能動詞の非出現についての渋谷(1993)の調査、「書カレル・書ケルなどの可能形式を尋ねているにもかかわらず、それをインフォーマントから引き出すことができないことが多い。代わりに出てくるのは、書くなどの非可能形式である。」という結果と同じ結果をあらわしている。

4. まとめ

以上、①「주 없다」と「못」の意味の使い分けと、②アクチュアルな用法をあらわす可能動詞の過去連体用法について考察を行った。まず、日本語の可能動詞の打ち消し形に「주 없다」と「못」という二つの不可能形式が対応しており、その二形式の間には置き換えられない場合が存在し、不可能のあらわす内容によって使い分けられていることがわかった。両形式間には、重なり合う部分もある

り、はっきり境界線の引けないところもあるが、その意味の違いによる使い分けについては<表1>のようにまとめられる。今回の考察の結果は、日本語の可能動詞（-reru/-rareru）の用例を韓国語で訳したものを中心に分析しているため、「^{su}없다^o」と「^{not}못^{la}」の全体的な意味をみたものではない。韓国語の用例からの分析が今後の課題としてのこされている。

次は、なぜ、「書けた人はだしてもよろしい」を韓国語の過去連体形では訳すことができないのかについては、発話時において過去の特定な時間にすでに実現している事柄をあらわす場合と、これから実現することをいいあらわす場合によってその違いがみられた。考察の結果をまとめると<表2>のとおりになる。

参考文献

- 鈴木重行（1972）『文法と文法指導』麦書房。
- 森田良行（1977）『基礎日本語-意味と使い方-』（角川小辞典）角川書店
- 金子尚一（1980）「可能表現の形式と意味（Ⅰ）ーちからの可能と認識の可能についてー」『共立女子短期大学（文科）紀要』7
- 大河内康憲（1980）「中国語の可能表現」『日本語教育』41
- 奥田靖雄（1986）「現実・可能・必然（上）」『ことばの科学』1、むぎ書房
- 井島正博（1991）「可能文の多層的分析」『日本語のヴォイスと他動性』くろしお出版
- 渋谷勝己（1993）『日本語可能表現の諸相と発展』大阪大学文学部紀要第33巻
- 高橋太郎ほか（1997）『日本語の文法』講義テキスト
- 小木曾智信（1997）「可能表現形式と解釈としての「可能」」、東京大学国語研究室会発表レジュメ
- 尾上圭介（1998）「文法を考える 6 出来文（2）」『日本語学』Vol. 17-9、明治書院
- 최현배 チェ・ヒョンベ（1961）『우리말본 우리말본』正音社
- 이상화 イ・サンファ（1989）「現代国語の否定的な表現の意味、構造に関する研究」梨花女子大学学校教育大学院、修士論文
- 具鍾南（1992）「国語否定文研究」全北大学校大学院博士論文
- 남기심 ナム・キシム、고영근 コ・ヨンゲン（1993）『標準国語文法論 改訂版』塔出版社
- 任瑚彬,洪璟杓,張淑仁（1998）『外国人のために韓国語文法』延世大学校出版部

*韓国語訳は発表者により、日本語訳は翻訳本を使用した。

<表1> 「수 없다」と「못」の意味の使い分けについて

可能動詞(非過去形)の ポテンシャルな用法	学習、練習による(不)能力 例: 平仮名は読めますが、 <u>漢字は読めません</u> 。	「못」
	好き嫌い・アレルギーなどの生来的なものによる(不)能力 例: てんぷらやすき焼きは食べられますが、 <u>すしは食べられません</u> 。	「못」
	条件が欠けているための不能力 例: 約束があつて、今日は <u>飲みに行けません</u> 。	「수 없다」, 「못」
	禁止、 例: このマンションでは <u>犬や猫は飼えません</u> 。	「수 없다」, 「못」
	希望などに対する遠慮 例: 名前を出すことはやめてほしい」という <u>希望</u> なので、 <u>名前を書けないが</u> 、…	「수 없다」, 「못」(不自然)
	依頼 例: 封筒には <u>女みたいな字、書けない?</u>	「수 없다」
可能動詞(過去形)の アクチュアルな用法	能力可能、条件可能において実現しなかったこと「できなかった」に訳される場合 例: 梅子は、懐中電燈をもって、高圧線の下の原っぱの方をたずねあつた。皆が帰ってきたが、手がかりはつかめなかった。 例: お金が足りなかったので、パソコンを <u>買えませんでした</u> 。	「수 없다」, 「못」
	期待したが、期待に至らなかった、そぐわなかったことに対する話し手の残念な気持ちをあらわす場合 例: 私は遠足の朝、おやじから五銭白銅ひとつしか <u>もらえなかった</u> 。	「못」
	期待し、意図的につとめた結果が、「(まだ)もとの動詞+ていない」のかたちで、非実現の状態をあらわす場合 例: まだ <u>読んでいない</u> 。	「못」
	目的にむかって期待し、意図的につとめたが、実現しなかったことをあらわす場合 例: かれはその仲田のところに三四度いったが、杉子には <u>あえなかった</u> 。	「수 없다」, 「못」

<表2> 可能動詞の過去連体用法

発話時を中心に				
	過去の特定の時間にすでに実現した こと		これから実現する事柄	
	日本語	韓国語訳	日本語	韓国語訳
肯定表現	読めた	ilgwul su issso sslo n 읽을 수 있었	書けた	ta sswn 다 쓴 (書き終わった)
否定表現	読めなかった	ilgwul su issso sslo n 읽을 수 없었	書けていない	ta mot sswn 다 못 쓴